

(仮称) 秋田市中心市街地活性化プラン【原案】に対する意見募集結果

No	意見	意見に対する市の考え方
1	<p>中心市街地活性化のために、実に様々な取り組みが誠実になされており、これが少しでも効果が表れますように、一市民としては願うばかりです。しかしながら、そもそも論と致しまして、中心市街地の活性化を推進するにあたり、市として「外旭川まちづくりモデル地区」との整合性をどのように考えておられるのか、市民の誰もが納得できるように、担当部局ないし市長ご本人から、きちんと説明が必要なのではないでしょうか。</p> <p>なぜなら、外旭川地区に現在の構想のような大きな商業施設が建設されるならば、秋田市全体の商業需要が大きく毀損されるばかりか、その中でも比重の高い中心市街地に甚大な影響を与えることは明らかだからです。</p> <p>細かく申し上げますと、①中心市街地の活性化を根拠づけるコンパクトシティ政策の下で、なぜ外旭川まちづくり事業が容認されるのでしょうか。②まして、もともと開発が制限されている市街化調整区域の制限を解除してまで進めようとする積極的な理由は何なのでしょう。③それがどうして外旭川なのでしょう。④市場は独自の建て替えが決まったのに、そこと無理に一緒に行おうとする理由は何かあるのでしょうか。⑤スタジアムを一緒にする理由は（イオン社が提案してきたこと以外に）何かあるのでしょうか。</p> <p>数値的に見ても、県外資本（イオン東北社は秋田に本社がありますが、100%イオン本社の子会社であります）の商業施設であれば、地元から吸い上げた売上のうち、一部は地元へ落ちる経費があるものの（人件費・地代家賃など）、大部分は、即日幕張本社に吸い上げられ、必要がなければ二度と秋田には戻ってこないものです。それは長年の間には膨大な金額に上り、それは即ち秋田（市といっても県といっても構わないのですが）の地域GDPを減らしていくことにしかならないのです。だから、企業誘致の際にも、わざわざ商業施設を誘致することはないのです。つまり、市長および市の推進部局は、秋田のGDPを減らす決断をし、それが現実化した暁には、秋田の衰退にさらに一歩舵を切ろうとしていることになるのです。この罪は大きいと言わなければなりません。</p> <p>このことは、ほんの少しの手間で、数値上も明らかになることです。イオン社の計画売上高および（初期投資も含めた）費用のうち、地元へ落ちるものを除いた域外流出金額を算出し、それを年々積み上げたものが、その期間の市および県のGDPの減少額であります。まずは御部局におきましても、それを算出してみるべきです。</p> <p>それは、繰り返しになりますが、市内の商業（およびサービス業）が本来ならば得られるであろう収益の、少なくとも一部を毀損することになります。それでも外旭川地区の事業を進めるといふのであれば、中心市街地の活性化など失敗が約束されているといっても過言ではありません。そういう無意味な政策はそもそも推進すべきではないし、担当部局の方には非常な徒労をおかけするだけのことでしかありません。</p> <p>以上の理由で、中心市街地活性化の部局におかれましても、外旭川まちづくりのような跛行的な事業には強く反対すべきであると思われます。</p>	<p>外旭川地区のまちづくりは、本市がこれまで取り組んできた多核集約型コンパクトシティの考え方を基本としつつ、将来のまちづくりを見据え、民間事業者の知見やノウハウを活用したまちづくりを行うものであり、中心市街地の活性化を含む多核集約型コンパクトシティを補完するモデル地区と位置付けております。</p> <p>商業施設については、まちづくりを共に行う民間事業者（事業パートナー）から提案されたものであり、その規模や機能等については、基本構想の次の段階である基本計画を策定する過程において検討することとしております。これと併せて、モデル地区がもたらす影響についてもできる限り具体的なものとするとともに、モデル地区と中心市街地が連携し、相乗効果を得られるような仕組みについても検討してまいります。</p>
2	<p>住みやすい街を目指すとはあるが、その根底には安定した雇用と充実した賃金が欠かせない。秋田の若者はソレがないから秋田を離れていくのだ。秋田の良き所は豊富な自然とその恩恵を受けた食物だ。夏や秋はキャンプ、サップ、サーフィンやマリッジットなどのスポーツ。釣り。温泉。冬はスキー、スノーボード。</p> <p>※マリッジットに関しては、免許を確保したところで買うのは高価で自宅で保管するにしても場所をとるので限度がある。なのでレンタルして楽しめる施設やショップか湖や海にあるのがいいと思う。</p> <p>1度都会に出て秋田に戻ってくる人もいるが、家庭的な理由をぬかせば大抵帰ってくる人は秋田の閑静な自然に身を浸した原点回帰という意識だと思う。移住してくる人の意識も大抵自然との共生に身をゆだねたいという思いからであろう。秋田もちょっとした都会的な町並みやショップや施設が豊富になってきたから帰ってくるわけではないことだけは忘れてはならない。なので都会にあるような若者向けのショップや施設を誘致して町の活性化や都市化をはかったところで秋田の人口はそもそも少なく、当の若者は雇用や賃金の充実した地域に出ており、秋田には不在なのでそのお店にはお客さんもチリチリとしか行かず採算がとれず何年か後に撤退という事になると思う。なので、住みたい街にするにはまずは雇用の充実と賃上げが絶対であり、賃上げしない会社にはペナルティーを課すなどこういうことは徹底してやらない限り無理である。そもそも出ていく人を少なくする事や帰りたいという人の為に事を考えねばならないと思うが、その為にも安定した雇用と賃金の充実には通れないのだ。</p>	<p>若者の地元定着のためには、安定した質の高い雇用による賃金水準の向上が重要であると認識しております。</p> <p>そのため本市では、非正規雇用者の正規転換を図るアンダー40正社員化促進事業により、雇用の質の向上に取り組むとともに、資格取得助成事業により賃金水準の向上につながるキャリアアップを支援しております。</p> <p>また、賃金水準の高い雇用の場を創出していくため、若い世代の活躍が期待される電子デバイス・輸送機関連等の製造業やICT関連産業等を主なターゲットとした企業誘致に積極的に取り組んでおります。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後の施策事業の参考にしてまいります。</p>
3	<p>目標05市民がつくるまち（資料ページ43）</p> <p>ここ数年の秋田市の文化芸術事業にはめざましいものがあると思います。特に文化創造館、芸術劇場ミルハスが完成し、芸術文化の中心地として、着実に、成果を上げて来ていると思います。一つ、不安に思っているのですが、既存の美術館、文化施設（アトリオン、AU、アルベなど）との連携がなされているかどうかということです。</p> <p>特に、秋田市立千秋美術館改修工事、佐竹史料館改築に期待をしていますが、千秋美術館は収蔵庫が無いのか、それとも小さいのか、きわめて収蔵作品が少なく、収蔵事業も行われていないのではないかと思います。先日、テレビで、秋田市民文化ホール彫刻作品が、千秋美術館に収蔵される見通しを知りましたが、秋田公立美大のように、彫刻の専門家がいてもかかわらず、何も知らせがないのは非常に疑問に感じました。佐竹に関しても、彫刻など貴重な美術品が多いにも関わらず、専門家への相談、調査はしっかりやられているのでしょうか？また、それらを市民に報告する機会をぜひ作っていただきたいと思っています。</p>	<p>既存の美術館、文化施設との連携については、中心市街地の民間事業者、文化施設、秋田県、秋田市が参加する定例会議の場で情報共有を図るとともに、情報誌に各施設のイベント情報を掲載するなどの取組を行っております。</p> <p>千秋美術館は、美術専門家、学識経験者による美術作品等評価審査委員会に諮った上で継続的に作品収集を行っております。収集した作品は、展示公開のほかホームページの収蔵品データベースにより公開しておりますが、より多くの方の目に触れるように、情報発信に努めてまいります。</p> <p>佐竹史料館は、様々な分野の専門家で組織する佐竹史料館協議会を設置し、事業計画や資料収集などについてご意見をいただいているほか、佐竹史料館改築事業においても専門家による検討委員会を設置し、協議や検討などを行っております。専門家からのご意見などを事業に反映した上で、市民を対象とした学習講座や講演会等の開催や市議会等への設計内容の説明等を行っております。いただいたご意見を参考に、今後も幅広く専門家に相談等を行いながら事業に取り組むとともに、市民への情報発信を行ってまいります。</p>
4	<p>p33～p34</p> <p>人々が集い、にぎわうまちにするためには魅力の有るイベント等を企画する必要があると思います。行きたい、行ってみたいと思うようなことをしていかないと。スポーツの試合は数千人単位で人が集まるので、この地域に屋内体育館を建設してバスケット・バレーボール等の室内スポーツを開催したらと思うのですが、県立体育館はやっぱり山王に建設するのでしょうか？もし駅周辺に建設出来たら、にぎわうと思うのですが。埼玉の大宮には駅近くにスーパーアリーナがあるので、秋田でも建設できたらと思います。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、目標01「人々が集いにぎわうまち」における取組方針に基づき、魅力あるイベントなどによりにぎわいの波及を図っていく中で、参考にしてまいります。</p> <p>なお、県立体育館について、いただいたご意見は秋田県の担当部局へお伝えします。</p>
5	<p>最近、秋田の事がTVで紹介される事が多いと感じています。P22 満足できる店舗が少ないため、買物は弘前に行く事が多い。開店当時は洗練された品物が多いのに徐々に田舎臭くなる。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、目標04「チャレンジできるまち」における取組方針に基づき商店街等の魅力向上を図っていく中で、参考にしてまいります。</p>

No	意見	意見に対する市の考え方
6	<p>現在の秋田市、特に中心街の活気無さは非常に残念に思っています。（昔、昭和時代の方が活気がありました）</p> <p>どのようにしたら賑やかになるかは各方面から提案がなされ計画が進められていると思いますが、私なりの考えを申し上げます。</p> <p>中心街に芸術文化ゾーンを設置されるのは問題ないですがこれで集客力がアップなるかと申せばならないです。劇場、音楽ホール、芸術館等は普通に考えて年に2～3回行けば充分です。イベントも一時的なものです。これでは常時人の集客・流れは発生しません。そして商業ゾーンですが、大型ショッピングビル等は駅前だけの一極に集中しています。これでは人の流れは発生せず逆に滞ってしまいます。私の考えでは極となるゾーンをもう一つ作ることです。そこは、中通一丁目地区で木内（再開発すべき）みずほ銀行付近にある空地を利用することです。この地区はまったく死地になっています。昔はここが県内随一の繁華街でした。ここに魅力有る大型ショッピングビル、レジャービルを誘致し、そして、駅前からのアーケードをここまで延伸すれば、人の流れは必ず発生し賑わいももどってきます。そうすれば、中間点にあるなかいちも芸術文化ゾーンも活気付きます。あとはコストと誘致企業の問題ですね。</p>	<p>中心市街地の現況分析から、「大規模な空き地・空きビルが存在している」ことについて課題として捉えており、大規模な空き地が活用できれば中心市街地の活性化に寄与するものと認識しておりますが、一義的には所有者の意向が尊重されるべきものと考えております。</p> <p>今後も再開発のコーディネートを行う事業者との情報交換や所有者に対し関連する補助制度について情報提供を行うなど、引き続き低未利用地の活用促進に努めてまいります。</p>
7	<p>秋田市中心市街地プラン（原案）はとても良かった。希望をしっかりと持てる。プラスして中心市街地の東西南北のミニ活性化プラン（？）も進めてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東 手形地区（通称 ラーメン通り？） ・西 新屋地区（表町バス通り） ・南 牛島地区（牛島商店街 北都BK牛島支店前通り） ・北 土崎地区（郵便局前通り） <p>外旭川地区まちづくり基本構想は見直しが必要。大企業の宿命に押しつぶされる秋田は見たくない。秋田ならではの個性あふれる街づくりをお願いします。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、市内各地区で行う様々な取組やまちづくりの参考にしてまいります。</p>
8	<p>個人的には、木内百貨店の無料駐車場が利用出来なくなってから資料にある、中心市街地へ行く機会は減りました。</p> <p>イベントが無くても普段から行きたくなる魅力ある街にならないと人は増えないと思います。駅前周辺、昔よりキレイになりましたが、逆に個人店、小さな店、飲食店、本屋、レコード店などは、ほとんどなくなってしまいました。サブカルチャーをテーマにした店がないと、街の魅力なんて無くなってしまいます。自然に足が向かなくなるものです。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、目標05「市民がつくるまち」における取組方針に基づき日常的なにぎわいの創出を図っていく中で参考にしております。</p>
9	<p>p33, 34 人々が集いにぎわうまちについて、</p> <p>秋田市中心部小さな子連れだとかかなり行くのが大変。子ども向けののびのびできる場所が少ないため、連れて行っても退屈→早く帰りたいとグズる→大人もゆっくり買い物できない。</p> <p>子どもが魅力を感じる環境を取り入れてほしい。</p> <p>Ex:なかいち、駅前付近へ公園（遊具の配置）、ピクニック、店でテイクアウトしたもの等を食べられる芝、ベンチ、テーブル等</p> <p>イベントだから行ってみようではなく、何も無い日でも子どもが楽しめるおでかけスポットとして、家族で遊べる場所となれば「にぎわうまち」に繋がっていくのではないかと。</p> <p>駐車場を何カ所に分けたら混み混みで帰ることができたとと思う（・・・がこれは仕方ないか）</p>	<p>いただいたご意見につきましては、目標05「市民がつくるまち」における取組方針に基づき日常的なにぎわいの創出を図っていく中で参考にしております。</p>
10	<p>【資料35～36ページ】</p> <p>ミルハスや各美術館のポテンシャルは高いものがあると思っています。美術展等は展示品を秋田ゆかりにこだわることなく人気作家、人気分野で開催し、県外客の取込に力をいれたらよいのではないのでしょうか。</p>	<p>千秋美術館では年間3本程度の企画展を開催しており、秋田ゆかりの作品にこだわらず、魅力的な企画展となるように、国内外の優れた作品を幅広く紹介しております。今後も、市民・県民に美術鑑賞の機会を提供するとともに、県外からの集客にも努めてまいります。</p>
11	<ul style="list-style-type: none"> ・33、34ページ（人々が集いにぎわうまち） <p>中心市街地に人を訪れるようにするには、交通便の改良が必要なのではないのでしょうか。確かに中心市街地には魅力的な商業施設や文化施設などがあるとは思いますが、しかし、秋田は東京などとは異なり車社会であり、そもそも街を歩いたり自転車で行き来したりするという事が億劫だと考えます。</p> <p>では駐車場を整備し、車で中心市街地に来られるようにすればよいかというと思うと違います。私的な意見ですが、中心市街地へアクセスする道路は車通りが多い、一方通行、片側1車線で渋滞しがち、狭路も多く残っているなど、車利用者にとっては面倒くさいと思ってしまう。そのため、本気で中心市街地に人を集めたいのであれば、県などと協力し、大胆な道路改良をすべきだと考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・35、36ページ（芸術文化が香るまち） <p>あきた芸術劇場ミルハスに関して、特に若者に人気のあるアーティストや男性/女性アイドル、ボーイズ/ガールズグループ、舞台（2.5次元舞台なども含む）、声優、その他イベント等を誘致すべきです。理由として、テレビ等でアーティストのライブが実施される旨はよく聞きます。しかし、集客ターゲットが明らかに中高年に偏っているよう強く感じられます。また、隣県の宮城県はともかく、他の北東北の岩手県、青森県には老若男女に人気・有名なアーティストが少なくとも秋田よりも多く来ています。</p> <p>首都圏などからの利便性が劣悪なこと原因かもしれませんが、少なくとも人気・有名なアーティストを呼ぶことができれば、音響も良いと聞きますので、見に行きたいと思う人は多くいるのではないのでしょうか。魅力のあるコンサートホールだと思いますので、大手音楽事務所等にミルハスをアリーナツアーに組んでもらえるよう積極的に売り込んで頂けるよう切望します。</p> <p>なお美術館・史料館に関しては、場所が点在しているので、1か所に集中させたほうが訪問する市民等にとっては楽なのではないかと思えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ページ37、38（暮らししたくなるまち） <p>目標指標に関して意地悪な言い方をすると、中心市街地人口「以外」の人口割合は減少してもよい、と解釈されかねないと思います。なお、マンション建設等で中心市街地に人口を集めて増加させ、割合を上昇させること自体には特別意見等ありません。</p>	<p>中心市街地の環境整備について、いただいたご意見につきましては、目標03「暮らししたくなるまち」における取組方針に基づき、暮らしのための環境整備を図っていく中で参考にしております。</p> <p>あきた芸術劇場ミルハスのイベントに関するご意見については、施設運営の参考にしております。</p> <p>目標指標「市内総人口のうち中心市街地人口が占める割合」については、秋田市人口ビジョンにおいて、本市の将来人口の減少は避けられないものと見通しておりますが、地域ごとに生活拠点としてふさわしい「地域中心」への人口集積を図るなど活力あるまちづくりを展開しております。また、中心市街地は、高次都市機能を維持するため、官民を挙げた各種取組により人口増加を目指すこととしております。</p>

No	意見	意見に対する市の考え方
12	<p>p27 中心市街地活性化の課題 昔の駅前にあった金座街の復活を望む。やはり飲食をともなった小路がにぎわいを広げてくれると思う。酒の国秋田をPRすべきである。安い物売る商店こそ活性化の起点であると思う。代行車も一画に専用の場所も必要と思う。タクシー乗り場も必要と考える。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、目標04「チャレンジできるまち」における取組方針に基づき、商店街等の魅力向上と活性化への支援を図っていく中で参考にまいります。</p>
13	<p>p19,27 駅前マンションは人気ではありますが、一部の高所得者に集中している印象です。地元の人を中心に呼び込むより、高所得者、旅行者、高齢者をターゲットとした方が活性化したいと思います。バス利用者（高速バス含む）の待機場が整備されていないので、空洞化している店などを利用してはどうか。 余談ですがミルハスの座席の間隔の狭さには驚きです。（コロナ禍なのに）</p>	<p>いただいたご意見につきましては、目標03「暮らしがよくなるまち」における取組方針である暮らしのための環境整備を進める中で参考にまいります。</p>
14	<p>・「秋田市中心市街地活性化プラン」について はじめて読ませてもらったが、多岐にわたる事業内容、緻密なプラン、確実な実効性等、素晴らしい計画だと感心した。また今まで見聞きしてきたイベントなどもこのプランに沿ったものだったのだと合点がいった。ぜひ、住みよい街づくりとコンパクトシティの実現のため、がんばっていただきたい。 ・中心市街地商業集積促進補助制度について 2年で結果を出すのはなかなかむずかしいのではないかと。定着を図るため長い支援が必要と思われる、最長5年としてどうか。（最初の3年間～1/2、あとの2年間～1/3補助） ・市民活動等施設利用件数について 各施設の利用件数が増えることは、にぎわいの創出につながると思われ、広報等により、積極的な利用の周知とつながりが必要ではないか。 ・西武百貨店の存続について 秋田市の玄関口の顔である西武百貨店の去就はこの計画にも大きな影響を及ぼすと思う。穂積市長にはぜひ存続に向けて真剣にとりこんでいただきたい。（売方のみならず、買方ともぜひコンタクトをとり、存続を訴えてほしい） ・「外旭川計画」との整合性について どう考えても「中心市街地活性化プラン」と「外旭川計画」は両立しない。西武の存続運動にしても、「外旭川計画」が足をひっぱらないか懸念する。「外旭川計画」は卸売市場の建てかえだけで充分であると思う。（外旭川計画はこの活性化プランと比較してあまりにもお粗末である）</p>	<p>中心市街地活性化のために引き続き各種取組を進めてまいります。 中心市街地商業集積促進事業補助制度について、創業期間のひとくくりである補助利用から5年後の定着率は推計で76%であり、現行の補助制度で一定の効果があらわれていると認識しております。定着を図るには、補助金の交付だけではなく創業者の自立を促すことが重要であるため、補助期間終了後も専門家による経営相談等により経営の安定化を図っており、今後も定着率の更なる向上を目指した取組を進めてまいります。 各種市民活動等については広報あきたなどにより周知しているところでありますが、いただいたご意見につきましては中心市街地活性化に向けた今後の取組の中で参考にまいります。 西武百貨店については、中心市街地に与える影響は大きいと考えており、店舗の存続と従業員の雇用の維持を求めています。 中心市街地においては「あきた芸術劇場ミルハス」など、芸術文化ゾーンを中心に新たなハード整備が進んだことや官民の連携による各種ソフト事業を引き続き実施予定であり、本市をイメージする「顔」、コンパクトシティの核として、今後も継続して活性化に取り組んでまいります。また、外旭川地区のまちづくりは、本市がこれまで取り組んできた多核集約型コンパクトシティの考え方を基本としつつ、将来のまちづくりを見据え、民間事業者の知見やノウハウを活用したまちづくりを行うものであり、中心市街地の活性化を含む多核集約型コンパクトシティを補完するモデル地区と位置付け、現在、まちづくりの基本構想策定に向けて検討を進めているところであります。</p>
15	<p>中心市街地の現況や視点から詳しいデータから分析、検証がなされていると思います。</p>	<p>中心市街地活性化のために引き続き各種取組を進めてまいります。</p>
16	<p>・少子化をストップ ・若者の秋田離れを止めるには・ファミリー層（子育て世代）を支援する秋田→ここここをよくしないと少子化がストップできないと思うのですが ・高齢者の不安をなくし、安心を得られる秋田 かたちだけでなくみためだけでなく建物だけでなく、本当の土台を秋田にたくさん企業の力をつける 一人ぐらしの高齢者に目をむけて 中心市街地活性化プランが上の項目につながるようお願いします。</p>	<p>本市では、人口減少対策を市政の最重要課題と位置付け、子どもを安心して生み育てやすい環境づくり等の各種施策の展開に努めております。 いただいたご意見につきましては、人口減少の抑制や持続可能な社会の実現に向けた取組の中で参考にまいります。</p>
17	<p>p33、34：イベントが行われる時には、様々な露天や屋台が出店し、魅力的な商品もあるので、街歩きも楽しめるが、それ以外は基本的にシャッター街だったり、店があってもあまり興味関心がそそられないものだったりすれば、わざわざそこに行く特別感もないので、結局、普段は行かない、行く意味がない、という結論になるだろうと思う。イベントだけでは一時的なものにしかならないのではないかと。ただ、『④チャレンジできるまち/⑤市民がつくるまち』を目標に掲げているので、イベント以外での活性化を期待したい。 P35、36：『芸術文化が香る』を目標にするのであれば、街並みにもそれを反映させ、例えばストリートアートがあったり、インディーズバンドの路上ライブがあったりなど、箱内に活動の場を限定するのではなく、街中でもっと気軽に芸術文化を感じられる、ふれあえる空間があっても良いのではないかと。また、芸術文化施設も若い人が気軽に使える場所になればいいと思う。</p>	<p>イベント以外での活性化について、いただいたご意見につきましては、目標05「市民がつくるまち」における取組方針に基づき日常的なにぎわいの創出を図っていく中で参考にまいります。 「芸術文化が香るまち」について、いただいたご意見につきましては、関係部局において参考にまいります。また、芸術文化施設では、音楽やダンス等において利用できる諸室等がありますので、気軽に利用していただけるよう周知してまいります。</p>
18	<p>p33 人々が集いにぎわうまち 秋田市中心市街地は、JR秋田駅、バスの発着地であり、人々が集まる要素があると思う。従って、イベント開催のみならず、平時においても人々が集まり、周遊したくなるような魅力づくりが必要だと思います。 また、外旭川地区との関連で、変化に対する具体的な対応策が必要だと思います。</p>	<p>平時のにぎわいについて、いただいたご意見につきましては、目標05「市民がつくるまち」の取組方針に基づき、日常的なにぎわい創出を図っていく中で、参考にまいります。 また、中心市街地においては「あきた芸術劇場ミルハス」など、芸術文化ゾーンを中心に新たなハード整備が進んだことや官民の連携による各種ソフト事業を引き続き実施予定であり、この好機を逃さず、課題を検証した上で、本市をイメージする「顔」、コンパクトシティの核として、今後も継続して活性化に取り組んでまいります。</p>
19	<p>p33～34 直接の記述がありませんが、若い時はよく訪れていた千秋公園で、駅にも近く散策にはとても適している、気に入った場所でした。ところが数年前久しぶりに行って感じたのは、桜の木が減りさびしくなっていました。また、車イスの方を連れていくには駐車場がなく、ゆっくり散策できる場所ではないと実感。山の上であるために、他県と違って利用しづらい不便さがあると思います。高齢者の方もマンションに入ったとき、千秋公園の良さを十分に味わっていただける設備が整うとありがたいです。 P35～36 〈ミルハスの駐車場〉 初めて利用して、たまたま駐車場の1Fに止めた時、出ようとしたら、地下から出てくる人と、駐車場に入場する人がいてすぐ出られず、危ないと思いました。改善を希望します。</p>	<p>千秋公園について、いただいたご意見につきましては関係部局において参考にまいります。 あきた芸術劇場の駐車場については、いただいたご意見を参考に指定管理者と協議しながら適正な管理運営に努めてまいります。</p>

No	意見	意見に対する市の考え方
20	<p>P9 にある市民アンケートや商店主アンケートから今後の中心市街地活性化の方向性として「駐車場の整備、交通機関の整備」の希望が一番上がっているのに対し、低未利用地の所有者からのアンケートでは当分現状のままにしておきたいという意見が多く相反していると感じますが、両意見に対して市としては今後どのような対応や働きかけを検討されていますか？ 市民アンケートの公共交通機関の整備の観点で、中心市街地外からのアクセスを良くする為に現行のぐるるの運行範囲をもう少し範囲を広げるまたは他の路線との乗り継ぎができるように乗り換えポイントを設置するなどの方法も有効かと思いますが、現在ぐるるを利用している方の客層（観光客と市民の割合など）や年代の統計はとられていますか？その利用者は運行の目的とマッチしていますでしょうか？乗り継ぎの場合、ドンキホーテやイオン秋田中央店などの商業施設を乗り換えのポイントにする事で利用者の利便性が高まるのではないのでしょうか。</p> <p>P11 秋田駅周辺に自転車で出かけた場合、公共の駐輪スペースはアトリオンの地下または秋田駅西地下駐輪場と認識しています。少しの時間買い物をしたり、お茶をするだけに地下の駐輪場に自転車を止めて目的のお店に行くには億劫に感じてしまいます。ただの道として通行するだけではなく、戦略的に中心市街の自転車の通行（利用）量を増やすという事であれば、街中に気軽に短時間駐輪できるスペースがあると良いと思います。</p> <p>P21 中心市街地商業集積促進事業補助制度を利用された方の今までの定着率はどれくらいなのでしょう？補助を利用した件数だけではなく、同時に実際に定着している数も指標にした方が良いのではないのでしょうか？やむを得ない事情があって定着できない場合もあるとは思いますが、その理由は把握・分析されていますか？</p>	<p>中心市街地の現況分析から、「大規模な空き地・空きビルが存在している」ことについて課題として捉えており、大規模な空き地が活用できれば中心市街地の活性化に寄与するものと認識しておりますが、一義的には所有者の意向が尊重されるべきものと考えております。 今後も再開発のコーディネートを行う事業者との情報交換や所有者に対し関連する補助制度について情報提供を行うなど、引き続き低未利用地の活用促進に努めてまいります。 中心市街地循環バスぐるるについては、秋田駅やエリアなかいちで創出されたにぎわいを中心市街地全体に波及させることを目的としており、現時点で路線を延伸する予定はありませんが、第3次秋田市公共交通政策ビジョンにおいて、乗換を前提とする公共交通網への再編と乗換環境の整備を進めることとしており、今後、中心市街地外からのアクセスも考慮しながら検討してまいります。 また、利用者層の統計は困難ですが、地域連携ICカードAk i C Aの導入により得られる乗降データなどを分析し、持続可能な公共交通サービスの実現に向けて有効に活用してまいりたいと考えております。 秋田駅周辺の駐輪場については、自転車で訪れる方の目的や駐輪時間が多岐にわたることから、駐輪可能台数の多い公共の駐輪場を利用頂くことで、景観の維持や安全な通行スペースの確保を図っております。いただいたご意見につきましては、中心市街地の歩行者・自転車通行量の増加へ取り組む中で参考にしてまいります。 中心市街地商業集積促進事業補助制度について、創業期間のひとつくりである補助利用から5年後の定着率は推計で76%であり、本事業により一定の効果があると認識しております。撤退理由については、自立後の情報収集は難しいため完全には把握できておりませんが、定着率の向上を図るためには補助金の交付だけではなく創業者の自立を促すことが重要であるため、補助期間終了後も専門家による経営相談等により経営情報の収集・把握と安定化を図っております。現在、定着率については指標としておりませんが、一層アフターフォローを充実させ、定着率の向上を図ってまいります。</p>
21	<p>■p43, 44 事業リストの項目46個はそれぞれの事業とどのように結び付き、繋がりをもっていくのでしょうか。目指す秋田市民生活向上のため第3期計画事業46個、また第2期達成事業は結びついていくものと思いますが、資料内に掲げられている目標達成によってどのような日常生活を送ることが出来るのかを想像できるようさらに具体的に提示していただきたいです。秋田市中心市街地活性化プランは、少子高齢化、人口減少問題等の大きな問題にも密接に影響すると考えます。想像することは秋田市の向上にとって欠かせないことと思います。 ■高齢者コインバス事業（p43事業リスト13） 有効に利用されている高齢者も多いとは思いますが、利用するかどうかは本人次第で利用状況に大きな差があると感じます。 1区間100円で乗車は出来るが、バスの本数は以前より減ってきたり、そもそもバスを利用して中心市街に行くとする目的がない状況もあるのではないかと考えます。人口の高齢者割合が拡大する中、高齢者に様々な消費に関わっていただければ有難いと思います。 ■それぞれの事業が独立した目標を持つだけでなく、「高齢者コインバス事業」と「芸術文化が香るまち」目標を結びつけていくなど、他の事業をどれだけ絡めることができたかについても目標とし結果に拘っていただければと思います。 ■元気な街秋田の印象を持てるよう、そしてその先に新規店舗、新規事業を若い世代に想像して欲しい。徐々に住む場所は各人の価値観で選ばれるようになっていく中、秋田市の魅力度を上げるのは急務と考えます。</p>	<p>掲載事業については、目標に関連する各事業が、それぞれ効果を発現し、その結果として、目標の達成に寄与するものと考えております。なお、目標達成によってどのような日常生活を送ることが出来るのかという点については、中心市街地の将来像（イメージ）をパブリックコメント後に更新し、将来の中心市街地を想像できるようなものにしたいたいと考えております。 各目標の関連については、ご意見のとおり、複数の目標と関連する事業もありますが、分かりやすい計画書を目指したため、最も関連が深い目標と対応するように整理させていただきます。</p>
22	<p>N01 p33, 34 イベントだよりは→長続きしない→秋田市は少子・高齢化が進んでいる→高齢になると→足がない、移動手段がない→行かなくなる→衰退してくる。 P37③ マンションを買い求める人々はほんの一部の人達→中心市街地の定住増加は疑問 若い人達が住むのであれば子供さんがゆっくり遊べる天気の良い時は皆がベンチでゆっくりできる様な公園があったらいいと思う p41 ごく一部分の人の活動に見える→にぎわいの創出になるのでしょうか？ N02 まとめ ①中心市街地のみ活性プランは無理がある。市全体の総合プランの一部として考えてもらいたい。 ②人々の交流の強化のためには足が必要。交通網の抜本的改革と充実が必要と思う。車のない人、高齢で運転はちょっとという方も交通網が充実してきたらでかけてみようかと外出してみようか、少し遠出してみようかと思うかもしれない。 ③秋田市は将来少子高齢化になる。これに対応したプランでなければならないと思う。 ④他県から来た友達は箱物観光より中心市街地以外を希望する。秋田市内、山・川・海良い所がたくさんあるのもっとアピールしてほしい。</p>	<p>平時のにぎわいについて、いただいたご意見につきましては、目標05「市民がつくるまち」の取組方針に基づき、日常的なにぎわいの創出に取り組んでいく中で参考にしております。 また、その他、いただいたご意見につきましては関係部局においても参考にしております。</p>
23	<p>p33 人々が集まる為には、広い駐車場の確保が必要だと思えます。無料は難しいと思うので、買物をしたら無料化することで、中心地へ人々が集まると思えます。 仙台を見ると長いアーケードがあるので、買物しやすい環境があり、山形市を見ると、駅前には飲食店が多いので、秋田市も利便性の良い街づくりが必要と思えます。 他の色々な県と比べても駅前の活性化が街を元気にしていると感じますので、買物、食事のしやすい整備が必要だと思えます。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、目標01「人々が集いにぎわうまち」、目標03「暮らしたくなるまち」、目標04「チャレンジできるまち」に向けた各種取組の中で参考にしております。</p>
24	<p>p31中心市街地活性化の目標に関連して コロナ禍の影響を多大に受けている今、最近では、多彩なイベントが企画され、以前に見られた集客力が強化されているように思われるが、恒常的な人の流れを作る事が街の中にあればうれしい。（平日の閑散とした街はまるでゴーストタウン） それができたらただ煩雑な人混みではなく、ほぼ一日ショッピング、食事、趣味の探訪ができるような施設巡りの場があればいいと思う。大型店舗の品揃いも魅力があるが、街の中の路地、小路を巡り歩ける商店街があれば、これから後期高齢者となる自身に重ねると、ウィンドーショッピングで目を楽しませ、自分の歩きのテンポで時間空間を過ごせたら、うれしい。歩道をカラーリングして（数100メートルの色分け、又は町内商店街単位）、ほぼ何キロメートル歩けたと、目標ができ、疲れたら、店舗のひさしのベンチで、お茶ができ、休息し、芝生を小さく子供達が歩いているのを見て、微笑みももらい・・・ 千秋公園を中心に拡大する文化的、歴史的な街並みを想像すると夢がふくらみます。但し、駐車場が大問題で、東西南北に駐車場を確保し、ぐるるのバスのような交通網を整備運行させる・・・これから益々増える高齢者には、やさしい街になると思う。</p>	<p>目標05「市民がつくるまち」では、取組方針を「まちに関わりまちを楽しむひとづくり」とし、日常的なにぎわい創出を目指しておりますので、目標に向かい取り組んでまいります。</p>

No	意見	意見に対する市の考え方
25	<p>〈中心市街地〉 現状の人流から考えても、とても活性化しているとはいえない現状である。 01)人口の減少にとまらぬように10年、20年前より絶対的人口は減少している。 02)そもそも高齢化が進み5年、10年、20年後には2人に1人が高齢者となり中心部に人流が集まるか疑問に思う。 03)交通事情、特に電車の本数、バスの本数が少ないうえ、自家用車による移動が必要な状態であり、駐車場も少なく、どうしても無料駐車場のあるスーパー等、郊外へ人が流れている。 ※老若男女が集える中心地にするしかない。 ※移動が容易に出来る環境の整備が必要。電車・バス等を利用した場合、シェアできる自転車やAI搭載の自動運転の乗り物の開発が必要と思う。当然有料であるが年間1万程度のフリーパス券等があれば、自家用車の無い世代には便利である ※基本駐車場は無料にしないと中心部の集客は見込めない ※中心部の地価上昇は地主にとって嬉しい事で、税制で市・県にとっても収入増になり嬉しい事ではあるが、現況テナント料高となり集客の見込めない場所に出店にも利益は得られず、シャッター街となっている。 ※人口減少の街に出店するには地価を下げ、テナント料を街に見合った料金にすれば出店数も増加し、人流を復活できるのではと思う ※p16の歩行者・自転車の集客で見てもコロナ禍を考慮しても、どこも半数近く減少している。気軽にいける場所ではない状況である。つまり魅力の無い街となっており、人流が郊外に流れていると思われる。 ※安いテナント料は必要で店舗を増やせて魅力ある商店街にしてほしい。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、中心市街地活性化のための各種取組を進める中で、訪れる人によるにぎわい創出の面において、参考にしてまいります。 また、その他、いただいたご意見につきましては関係部局においても参考にしてまいります。</p>
26	<p>コロナ禍を踏まえると諸データは参考にならない部分も多いのではないかと。ミルハスなどの新施設の効果も今後期待したいです。中心市街地全体の回遊性が低いという点が大きな課題と考えます。中心市街地と言いながら回遊性がないというのは中心市街地の意味を成していないのではないかと考える。中心市街地の必要性を感じている市民を増やす、または中心市街地へ足を運ばせる機会をどう創出するところから考えなければならないのではないかと考えます。 中心市街地の人口増を目指したところ、市内総人口が増えない限りは本来の意味での中心市街地の活性化とは言えないと思う。あくまでも市内総人口が増えたと中心市街地人口が増える方策を目指さなければならないと考える。市内総人口増対策も並行して行う必要を感じる。市内総人口増を目指しながら中心市街地人口も目指し回遊性を向上させる方法を考える必要があると思う。例えば、従来あまり中心市街地に足を運ぶ機会や必要性を感じていない人に、中心市街地へ足を運ぶきっかけをどう作るか？一度足を運んだらまた足を運ぼうと思わせる機会をどう作るかが課題ではないかと思えます。 P36に関して、例えば、ミルハスを活用した無料イベントなど、いかに初回の参加機会を創出するかが必要だと思えます。興味はなかったが、無料であれば一度参加してみようかという市民は一定数いると思う。また市外対象にも無料参加機会を拡大させることもにぎわい創造には効果があるのではないかと。限定イベントや抽選イベントも効果があるのではないかと。そのイベントに関連させ、スタンプラリーや期間限定の割引クーポンを配布し回遊性やリピート性を創出させることが効果的ではないかと思う。ただし、核施設や店舗がそれらを受け入れようとする積極的な姿勢がない限り一過性のもので終わってしまう。各施設や店舗が積極的に再訪させようと思わせる魅力作りが最大の課題と思われま。</p>	<p>中心市街地の回遊性が低いことは中心市街地の現況分析から課題として認識しておりますので、いただいたご意見につきましては、中心市街地活性化のための各種取組を進める中で、日常的ににぎわいの創出の面において参考にしてまいります。 目標指標「市内総人口のうち中心市街地人口が占める割合」については、秋田市人口ビジョンにおいて、本市の将来人口の減少は避けられないものと見通しておりますが、地域ごとに生活拠点としてふさわしい「地域中心」への人口集積を図るなど活力あるまちづくりを展開しております。また、中心市街地は、高次都市機能を維持するため、官民を挙げた各種取組により人口増加を目指すこととしております。 なお、いただいたご意見につきましては関係部局においても参考にしてまいります。</p>
27	<p>秋田市は東北（仙台市を除く）他の県庁所在地より近代化が遅れている。（空き地の多数問題、中心部地下、東北森林管理局周辺、旧ダイエー跡地の空白） 盛岡市、福島市、山形市は都市化し、建築物の広さ高さ大きな建物が随所に存在する近代的な街並みである。 残念ながら秋田市は上述のような建築物の集積も少なく、極端に表現すると平盤的で何も無いただ広い町に映る。つまり秋田市に住む秋田市を訪れるワクワク気分は皆無に近くこれらの課題を克服し今後の発展を期待する。 盛岡市の都市の発展を整備された町並みを参考に実況見聞されたし。 秋田駅前西口広場もただ広いのみで魅力に欠けます。もっと広場を有効に活用し、セールスポイントを設置することが望ましいと思います。例えば花時計の設置、噴水等の配置を実施することで心安らぎ落ちつく空間を演出するものと確信する。 失礼ながら今の広場ではゲートボールを楽しむ空間にしか見ることができず、ゲートボール場とダブって見えるばかり。ならばハッキリとゲートボール場を設けた方が得策と思えるし、早急に改善してはと提言を致します。広場に上記の噴水、花時計と周辺にベンチを配置することで中心市街地は和み語らいの良き場所となることを切望します。是非、ご検討を願うものです。 秋田駅前の建物について提言提案を申し上げます。と周辺のサビと老朽化が大変よく目立ちます。多分、県外客は秋田市の町の近代化に疑問を持っているのではと懸念をいたします。これでは30万都市秋田の駅前の景観を損ね、秋田市の損失です。 また、駐車場を現在、ととの間に設けておりますが、これも都市の近代化からすると悪害であります。これら課題も早急に行政と地権者とで建設的交渉を行い、近代化の実施、駅前の再建整備と解体交渉を行い、官民が一体となった高さ10階以上の新開発が絶対的に必要と思慮するものです。これが秋田市の玄関なのかと他県の来訪者の方々には老朽化による大きなサビ付きでゲンナリし、県庁所在地とは思えぬと疑問を抱くのではないかと心配を致します。（勿論このは今から40年ほど駅前の再建に向け努力したのですが、なるほどは撤去されましたが失礼ながらサビ、キタナイ、張本人のの裏の窓などは旧態依然です） 駅前再開発で官民の一体となり開業したビルのように（、）この場所にも大きく再開発のためにメスを入れ、景観の向上を目指すことを願ひやみません。 今一つ再開発で問題箇所はの対応です。広小路の最近の高層ビルは駅前に集中していますが、エリアなかいち、等の建築的な等の存在は非近代的な老朽化が大きく、町の外観を阻害しております。行政の知見と経験則を結集し、の解体工事を願ひ跡地に周辺ビルに負けない高層建築物を建築される事を願ひます。 （秋田市発展の言葉が適切ではありませんがガンです）以上、永年の課題解決と喫緊の宿題を解決する目途をつけ、県庁所在地秋田市の発展的努力を熱望するものです。 あきた芸術劇場ミルハスについて一言。名称の改名（通称）を念願する。親しみを感じません。もっと親しみやすく舌をかまないよう名称を改名しても良くはないでしょうか。現在11文字ですが、『芸術ミルハス』と6文字で終息いたします。この呼び名がスッキリし、呼びやすい言葉となり、親近感が出て参ります。大変ご無礼で恐縮ですが、劇場と名が付くと映画館、歴史ある日本舞踏、歌舞伎、あるいは下品です表現が。ストリップ劇場と、自分の偏見と存じますが、想起させます。従い「あきた芸術劇場ミルハス」で良いのですが、通称を名付け、二刀流で名称の勝負をしてはいかですか。前段中に上げた通り、名称が長すぎて、ピンとこないのは自分だけでしょうか。開業より数ヶ月が過ぎ、単に『ミルハス』も良いと思うのだが。 秋田市にはいわゆる周辺の地方都市に存在するメインストリートと呼ばれる通りは皆無な状況です。これも秋田市の集客力を負のものとしている古いイメージです。メインストリートを、担当の市職員の皆様に汗を流してメインストリート整備に向け日夜奮闘下さることを期待し、筆を置きます。どうか頑張ってください。以上提言提案苦言まで。</p>	<p>いただいたご意見につきましては中心市街地活性化のための各種取組を進める中で、関係部局においても参考にしてまいります。 また、再開発については、今後も再開発のコーディネートを行う事業者との情報交換や所有者に対し関連する補助制度について情報提供を行うなど、引き続き低未利用地の活用促進に努めてまいります。 なお、あきた芸術劇場については、正式名称は「あきた芸術劇場」であり、「ミルハス」は公募により愛称として定めたものです。</p>

No	意見	意見に対する市の考え方
28	<p>・「人々が集いにぎわうまち」 中心市街に人が集まらないことがこの目標の一番の悩みです。中心地から離れた住宅地（郊外）に住んでいる人々が車が無くても中心市街に行きやすくなるようにバス時刻表や運賃を調整できるように働きかけてほしいです。 例えば：住宅街（郊外）から中心市街とつなぐ「深夜循環バス」があれば、中心市の飲食店やイベントに通いやすく集まりやすくなります。</p> <p>・「芸術文化の香るまち」 欧州に住んでいた頃、年2・3回「博物館・美術館の夜」というイベントがありました。その夜にすべての展示を見ることができるとある共通入場券があり、その共通入場券を見ればエリア内の公共交通機関も無料で利用できることがありました。仕事が忙しくて、日中なかなか時間が取れない、学校や仕事終わりに立ち寄れることができます。</p>	<p>中心市街地の交通利便性の向上は課題として認識しておりますので、中心市街地活性化のための各種取組を進める中で、訪れる人によるにぎわい創出の面において、いただいたご意見につきましては参考にしてまいります。</p> <p>また、現在は改修中の施設が複数あるため休止しておりますが、本市では市内の文化施設を巡る共通観覧券を取り扱っております。いただいたご意見につきましては、関係部局において参考にしてまいります。</p>
29	<p>P9 市民アンケート調査を見て、私自身も「ほとんど行かない」69%に入ります。駐車場の整備が原因と私も考えます。 50年前の広小路は沢山の人が行き交い、にぎわっていました。私自身も毎週のように出掛けていたが、どうして行かなくなったか。車社会になり、少しの距離でも歩かず車でいきます。千秋公園を散策するにも、駐車場がない。駐車料金がなくて長時間滞在できません。郊外の大型スーパーの方に行ってしまう。思いきって無料駐車場を作ってみてはいかがでしょうか。 目標指標の目標値ですが、駐車場が無料だったらそこから人が移動します。自然に人数が増えるように思います。車に乗らない人の目標値を設定しているように思います。</p>	<p>中心市街地の交通利便性の向上は課題として認識しておりますので、中心市街地活性化のための各種取組を進める中で、訪れる人によるにぎわい創出の面において、いただいたご意見につきましては参考にしてまいります。</p>
30	<p>全体的には、ミルハスが完成し、佐竹史料館の改築など施設の整備は進んでいると感じている。これらの施設の魅力を発信し、市民にどのように集まっていたか課題であると考えている。</p> <p>p9～p10アンケート結果で、市民、商店主、居住者のポイントを合計すると1番になるのが「9. 駐車場の整備、公共交通機関の整備等」である。また、「10. 歩道・歩行者環境を整備」「11. 天候を気にせず街歩き」を合わせると「9. 駐車場の整備、公共交通機関の整備等」を上回るポイントとなる。このことより、交通環境の整備、歩きやすい環境を整備することが最も期待されている事業であると考えている。希望としては、秋田駅からエリアなかいかちまでの仲小路に屋根をかけ、土日は歩行者専用にするなどの事業を実施していただきたい。さらには、エリアなかいかちからミルハスまでの歩道も屋根をかけるか、地下道にしていれば、さらに利便性の向上につながるかと考える。降雪期を考慮し、融雪歩道の拡充についても進めていただきたい。</p> <p>p35. の佐竹史料館改築事業は、貴重な史料を多く閲覧できる機会が増えると期待している事業である。「市民の郷土学習を支援する」とあり、改築後の「佐竹史料館学習講座」にも期待しているが、これまでの広報の募集案内を見ると先着順であり、募集開始が平日の日の中時間になっている。これでは多くの市民に開かれた講座であるのか疑問に思う。主催者側には負担になるかと思うが、抽選にして初めての参加者を優先するような方法にしていきたい（広報に載っている他の講座等も同じ）。また、Web参加やネットに登録するなど、多くの市民が参加、閲覧できる方法も検討していただきたい。</p>	<p>中心市街地の交通利便性の向上は課題として認識しておりますので、中心市街地活性化のための各種取組を進める中で、訪れる人によるにぎわい創出の面において、いただいたご意見につきましては参考にしてまいります。</p> <p>なお、いただいたご意見につきましては関係部局においても参考にしてまいります。</p>
31	<p>中心市街地にあればいいもの（足りないもの）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学のキャンパス→若者の集う場所は新しいアイデアや新しい文化が生まれやすいと思う。そこで育った若者が社会に出て、その場でも活躍してくれそう。 ・大型電気店（ヨドバシカメラの誘致など＝食品や家具もあり、知名度が高い） ・大規模玩具店（ない） <p>県全体で見ても足りないもので、市街地にあれば便利 若者の流出の低減につながってくれると思う。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、中心市街地活性化のための各種取組の中で、中心市街地の魅力ある店舗の集積の面において、参考にしてまいります。</p> <p>また、ご意見につきましては関係部局においても参考にしてまいります。</p>
32	<p>p1 資料を拝見いたしました。H22から現在に至るまで特に「あきた芸術劇場ミルハス」の開館までの歴史やそれまでの主な商業施設の歩みと秋田市の町並みと共に変化出来た経緯に感銘し感謝しております。達成すべき計画案が多いなかで幾つかのビジョンを掲げておりますが区域の方向性が芸術文化に強く特化が見受けられる以上市民の認識の変化を期待しつつ共に歩んでいけたらと思います。</p> <p>P17 統計データの指標の達成は全国と比べ、やはり空洞化が進む一方、マンションパブルの一端が僅かながら見受けられ、観光需要が減少する事は昨今の情勢の影響からも見て判断できます。特定一部を除き、東北全体は特にそうではないでしょうか。各事業が円滑に推進されます様、各調査の方面へ積極的に取り組んで参られます様お願いいたします。</p> <p>p27 既存施設を活かしつつ路上整備（アゴラ広場のあたりは老朽化が激しい。）は景観上修繕は必要なのではないかと思えます。全体像として必要ないのかもしれませんが。もしくは要所でパリアフリーを見直す良い機会ではないかと思えます。</p> <p>p31 活性化というテーマのもと目標が設定されておりますがイベント・芸術・環境整備・商店街の魅力向上・ひとづくりと地域性に応じたどれか一つでも達成される事を期待しております。</p> <p>p47 事業リストからも新規事業への意欲が見られます以上実施項目をこれ以上掲げるのはコロナの制限が解除されないと厳しいかと思われまます。現状維持で良いと思えます。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、中心市街地活性化のための各種取組の中で、毎年度実施予定である目標指標の測定の面において、参考にしてまいります。</p> <p>また、ご意見につきましては関係部局においても参考にしてまいります。</p>
33	<p>p02 中心市街地活性化の課題 課題1 来街者増加と回遊性の向上、2住みやすいまちづくり、3商店街の魅力向上、担い手の育成。に対して、目標取組方針は、漠然としてはいるが、それ自体共感はできる。</p> <p>P09 市民アンケート調査で駐車場、公共交通機関整備、魅力ある商店の増加とある。これらは非常に難しい。核テナント、大型店の衰退、買い回り、散策客の顕著な現象が見られることから、人口減少、コロナ禍との相乗効果により正確な分析を困難にしていると思慮します。</p> <p>P15 計画の目標の達成分析については、それ自体はメルクマールとなり得ても、深い意味は無いのではないかと。まさしく、魅力ある懐の深い施設、商店が現出すると、数値は跳ね上がることとなります。</p> <p>p26 現況1、回遊性低下、交通利便性が低い。2、マンション新築により居住人口は増加、3、市内の商業施設に対する満足度が低下している。</p> <p>中心市街地活性化策として、1来訪者の増加が基軸、2実数を補助する役割が期待できる。3魅力ある店舗と一概に言っても、層も幅もある訳で行政では出来ることは限られてきます。例えば、千秋公園に駐車場はあるのだろうか、県内外からの、来訪者が有っても戸惑うのでは。公営駐車場の駐車券のプール制を廃止、日限にしてから中心部から車と人が消えたように感じます。</p> <p>人口減少下で、公共交通機関に整備を求めるのは厳しい状況にあります。通勤通学客の、回遊性を多くすることも、一策かと思われまます。</p> <p>p29将来像については、掲載されている、5の柱に基づいて進行を深めていくのは、現状から理解できまうが、コンパクトシティ、外旭川問題も含めると、方向はがらりと変わる気がいたします。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、目標01「人々が集いにぎわうまち」における取組方針に基づき、魅力あるイベントなどによりにぎわいの波及を図っていく中で、参考にしてまいります。</p> <p>中心市街地においては「あきた芸術劇場ミルハス」など、芸術文化ゾーンを中心に新たなハード整備が進んだことや官民の連携による各種ソフト事業を引き続き実施予定であり、本市をイメージする「顔」、コンパクトシティの核として、今後も継続して活性化に取り組んでまいります。</p>

No	意見	意見に対する市の考え方
34	<p>日々お疲れさまです。様々なテーマ、課題の中で大変だとは思いますが、大まかですみません</p> <p>中心市街地活性化の課題について (03)</p> <p>一番に思うのは駐車場が不便な事。なかいち、キャッスル、ミルハスでイベントがあっても駐車場が満車で入れなく、かなり探して歩く事に。駐車料金も気になる所。お堀の端っこや、下に駐車場は厳しいですよ?!</p> <p>美術館、ミルハス、要は、イベント行きたい見たい企画次第で集客ができるので、OPEN時のように、どんどん呼び込んで欲しい。</p> <p>素敵な器があっても、要は、足を運ぶイベントが重要かと思ます。</p> <p>住宅はマンションが次々できてきているので、大丈夫かなと思う。</p> <p>駅裏からの道路(元フォーラス)幅広くなって、行きやすくなりました。</p> <p>大変ですが、頑張ってください。お疲れさまです。</p>	<p>中心市街地の交通利便性の向上は課題として認識しておりますので、中心市街地活性化のための各種取組を進める中でいただいたご意見につきましては参考にしてまいります。</p>
35	<p>駅近に新しく高層マンションができつつあり、住人が増える見込みがあると期待します。高齢化に備える若い世代が住み続けられる生活環境、仕事(産業誘致)の確保が重要です。その上で文化レベルの活性化を促進して欲しいです。近年のIT化の発展に便乗した町づくり、公共の施設を充実させ、便利でクリーンな町づくりを進めて欲しい。</p> <p>最近話題になっている「近代化したゴミ焼却施設」ごみ焼却で発生した熱エネルギーを利用した温水プールなど秋田市の中心部にあっても面白いと思いました。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、目標03「暮らしたくなるまち」における取組方針に基づき、暮らしのための環境整備を図っていく中で参考にしてまいります。</p>